



月光にかがやく美母

夜這いによがる

宇佐見翔

目次

一 二

法的拘束力を持つ重要事項および購入者同意契約

二年前、楓馬は義母を寝取った。その事件がきっかけで父親の太郎とは、離れて暮らしている。太郎は愛想をつかされたと思っっているらしく、揉めることもなかった。

義母の谷本静香からは、たまに楓馬のスマートフォンへ連絡がある。互いの近況を話す程度で、あの夜の話はしない。だが、静香の息遣いは、受話器越しでも楓馬を求めているのが伝わってきた。

（楓馬さんの二十歳の誕生日に、何も祝いをしないなんて……）

太郎は冠婚葬祭に限定せず、生誕や記念日等の行事を嫌う男であった。三十歳になる静香は、楓馬だけは祝福したいと申し出たが、取り合ってもらえなかった。

ちようど、九月に入ったばかりの残暑の夜。満月が南の空高く昇っている頃合いであった。

二階で静香は太郎と布団を並べて眠っていた。

（暑いわねえ……）

残暑は終わりと聞いていたが、扇風機でしのげる暑さではなかった。和室のため、窓を開けて風を通していた。太郎はエアコンが苦手な男だった。

しばらくして、うとうとし始めた頃だった。

（なにか、手が動かないような……）

浴衣姿で眠っていた静香は、不自由な状態に違和感を持った。ふと、眼を開けると布団が取り払われていた。両手は頭の上で縛られていた。

「なに、これ……」

こみあげる不安が、静香の口を開かせた。

「しゃべらないほうがいいですよ、義母さん」

優しく静かな声は、眼の前からやってくる。

「楓馬さん……」

異常な事態に、静香は慌てて横を見た。太郎はいびきをかいて、眠っている。

「父さんは起こさないほうがいいです。何かと厄介になりますから」

「どうしたの……」

「義母さんを抱きたくなりました」

スウェット姿で、楓馬は微笑んだ。静香の布団に横になり、甘えるような眼差しを向けてきた。脈拍が一気に高まり、悲鳴を上げたい衝動をこらえる。

「あなた、本気で言っているの？ 暑さでどうかしてしまったのかしら」

心臓が破裂するほどの恐怖を抑えて、静香は冷静に言った。

（いつもと変わらない様子だけど）

陰の相で睨みつけながら、脳をフル回転させる。

「いたって普通です。夜這いに来ただけです」

涼しい調子で、楓馬は言い放った。

まるで、通過儀礼をこなすように、何の罪悪感もない素振りが、静香の怒りを喚起した。

静香の水色の浴衣は着崩れた状態になっている。

胸元が開けて、鎖骨から豊かな胸元へ汗がつたう。

艶めかしい雰囲気、ぐくりと楓馬は生唾を飲み込んだ。

「自分でもおかしいと思うくらい、義母さんを抱きたくなって……」

困惑した台詞を言いながら、楓馬は義母の上に四つん這いとなった。

「いや、やめなさい。早まらないで……」

肩口にかかる黒髪を振り乱し、切れ長の眼を大きく開いた。静香のたわわな乳房の揺らめきに、楓馬は眼を細める。

（どうしてしまったの……）

普段とは違う楓馬の積極性に、義母はどう対応すればいいのか、迷ってしまう。

元々、楓馬は異性、同性問わず、人間に対する関心が薄かった。幼少時から中学校、高校まで、女の子とも上手く付き合っていた。だが、異性の意識はゼロと聞いている。

「なんか、急にオチ×チンが疼いてしまって……」

温和な表情の青年は、現実感のない言葉を連ねた。

義母は、夫の様子を気にしながら、小さな声で叱責する。

「そんなこと聞いていません。自分で何とかなさい。何をしているのかわかっているの？ 犯罪行為なのよ。あなた、義母さんをレ×プするつもりなの？ 性欲の目覚めは、自分でコントロールなさい。もう、二十歳になったのだから」

「そうだ、今日は俺の誕生日だ……」

楓馬は今、思いだしたように言った。

「自分の誕生日も忘れていたの！？ 仕方のない子ね。とりあえず、手首をほどこいてちょうだい……」

小さく鋭い声で、静香は命令した。

（なんとかしなければ）

落ち着いた口調で会話を続けようとしても、声が震える。胸元に視線を感じて、羞恥心が燃え上がった。目を紅くする。

少年の目には黒い炎が灯っていた。

「欲しいモノをくれたら、すぐに解放してあげるさ」

「プレゼント？ あなたが物欲を示すことなんて、珍しいわ。いいわよ。なに、なにが欲しいのかしら……」

汗の滲んだ白肌を波打たせて、義母は穏やかに尋ねた。

（楓馬さんの暴走をおさえないと……）

唐突すぎる彼の出現の意図を、美女は必死に模索する。静香と楓馬の間に血縁関係は

ない。そのためか、どうしても少年の気持ちを読めないと思うときは多々あった。

楓馬は幼い頃に実母を亡くした。同時期に、静香は後妻になり、楓馬を実の息子のように可愛がってきた。邪険にあしらいたくはなかった。

「今日だけ、義母さんが欲しいな」

楓馬はポツリとつぶやいた。

ささやかな男の欲望が、静香の鼓膜を揺する。義母が楓馬の意図を理解するまで、しばらく時間がかかった。やがて、三十歳の美女は整った顔を恐怖にひきつらせる。

（なにを言いだすの……わたしが欲しいって！？）

不快感に胸が疼き、怒りに全身の血液が沸騰する。

楓馬はそつと臀部に右手を忍ばせてくる。逃れようと腰をひねるが、左手で反対側のウエストをつかまれて、動きを封じられていた。ポリウム感のあるヒップを揺らす。

「聞こえなかったかな？ 義母さんが欲しい」

指先が浴衣の布地を端に寄せてくる。

月光の白い灯りに、脂ののった絹肌がきらめいた。ぴったりと内股を閉じ合わせて、静香は相手を睨み上げる。

「楓馬さん。どういう意味か分かっているの？ どうしてしまったのよ。くうっ、あつ、ダメッ……」

夫に聞かれないよう、静香は声を小さくする。

（浴衣を開いてはダメよ……）

フワツと布地がめくれ上がり、楓馬はため息をついた。満月に浮かぶ静香の白い肌はなめらかに弾む。みずみずしい桃尻は丸々と大きくも、しっかり引き締まっている。二十代のようなプロポーションは、静香自身の努力の賜物である。

「ちよっと、冗談じゃ済まなくなるわ……」

「俺は至って真面目さ……」

青年の指が尻肌を撫でてくる。淡白な性格とは正反対の粘り強さが伝わってきた。むちっとはち切れんばかりの太ももに指が沈む。不安に焦る義母の気持ちを嘲笑うように、尻肉の感触を楽しんでいた。

「脂ののった尻は、触り心地がいい。太って垂れていると、興ざめだけど、義母さんのヒップは熟れているのに弾力性もある」

「ふう、うう、いや、あつ……」

わめきたてたい気持ちを押し殺し、静香は丸っこい小顔を紅潮させた。

（あどけない少年の触り方ではない……）

楓馬は興奮しつつも、やみくもに触れてこない。いやらしいと嫌悪感を抱くと、指先は離れた。安心感にひと息つけば、すかさずおぞましいぬくもりが襲ってくる。

「もう、やめなさい楓馬。ああ、そこを捲いたら見えちゃうわあ」

悲しげに静香は顔を落とした。長い睫毛を切なく震わせた。

静香の快樂波長と心理を読み切って、羞恥心を煽ってくる。浴衣の裾を捲られ、透き通るように白いシルクの肌が月光にきらめいた。

「ほお、黒のショーツか。色白美女には一番似合う色だね」

じつくりと秘裂を隠す最後の武器まで眺めてくる。

暑いため、布地の面積の少ないGストリングのショーツを穿いていた。メッシュ状の布地には花柄の刺繍が施されており、縁はすべてフリルで彩られている。

非常に煽情的なデザインと静香自身も思う。

「余計なお世話よ……いや、やつ、プレゼント出来ないわ」

次第にデンジャラスゾーンに踏み込まれて、静香の平常心は失われていた。するどくヒップを振っても、青年に押さえられては、どうしようもない。さわさわと右手で尻面を撫でまわされる。

「しつとりとしている。ふうむ、いい熟れ方だね」

「あなたが育てたように言わないで！」

「大きな声をあげてはいけない。あまり派手に暴れるなら、すぐにショーツを脱がすぞ。俺も早くセックスしたくてたまらないんだ。チ×ポを入れるまでの時間を、大幅に短縮しないとならない。我慢してよ」

「いやよ。出来るはずないじゃない……」

自然に静香の声は震えおののく。

く続きは本編でお楽しみください

法的拘束力を持つ重要事項および購入者同意契約

本文書は、成人向け官能小説作品（以下、「本作品」という）を公開・販売するにあたり、著者（以下、「当方」という）と購入者（以下、「貴殿」という）の間で締結される法的拘束力を持つ同意契約です。本作品の購入、ダウンロード、閲覧、またはその他の方法でのアクセス行為により、貴殿は本免責事項の全条項に完全かつ無条件に同意したものとみなされます。同意できない場合は、

本作品の購入・閲覧を直ちに中止してください。

一年年齢制限および法的確認

本作品は日本国内法において成人と認められる18歳以上の者のみを対象としています。

本作品の閲覧・購入により、貴殿は自らが法的に成人年齢（18歳以上）に達していることを宣言・保証し、これに虚偽があつた場合のすべての法的責任を負うことに同意するものとします。

貴殿は、本作品を未成年者に提供・共有・販売・貸与しないことを誓約します。

貴殿は、本作品の閲覧にあたり、貴殿の居住地および閲覧地の法令で成人向けコンテンツの閲覧が許可されていることを確認し保証するものとします。

二 コンテンツの性質および免責

本作品には、明示的な性的描写、成人向けの要素、およびその他センシティブな表現が含まれています。

本作品に登場するすべての人物、場所、団体、事件、状況は完全なフィクションであり、実在の人物（生存者・故人を問わず）、団体、事件、場所とは一切関係ありません。いかなる類似性も偶然の一致であり、意図的なものではありません。

本作品で描写される行為、状況、関係性は、現実世界における法的・倫理的・道徳的価値観を反映するものではなく、また推奨・奨励・助長するものでもありません。

本作品は芸術的・文学的表現の自由に基づく創作物であり、表現の自由を保障する憲法その他の法令により保護されています。

貴殿は、本作品の内容が貴殿の想像力を刺激し感情を喚起する可能性があることを認識し、それらに対する対処は貴殿自身の責任であることに同意するものとします。

三 個人の感性と判断の完全責任

性的表現や官能的描写に対する感じ方は個人差があります。貴殿は完全に自己責任において本作品を閲覧するものとし、その判断と結果について当方は一切の責任を負いません。

貴殿は、本作品の内容が貴殿の個人的価値観、信条、宗教的・道徳的・倫理的信念に

合致しない、または挑戦的である可能性があることを明確に理解し、それにより生じる精神的・感情的反応について当方に責任を求めないことに同意するものとします。

貴殿は、作品内容に不快感や心理的動揺を覚えた場合、直ちに閲覧を中止することが貴殿自身の責任であることを認め、これを怠ったことによる結果について当方に一切の責任を求めないことに同意するものとします。

貴殿は、本作品を閲覧することによって引き起こされる可能性のある感情的、心理的、または精神的影響について当方が責任を負わないことを明示的に同意します。

四 販売プラットフォームの規約と購入形態

本作品は、各販売プラットフォーム（note、DLsite、FANZA、その他EPUB形式で配信するプラットフォーム）の規約に準拠して制作・販売されています。

貴殿は、プラットフォーム固有の利用規約および制限事項をすでに確認し理解したことを確認するものとします。

貴殿は、本作品がもともnoteで公開された記事をEPUB形式に変換・編集して販売されている場合があることを理解し、それによる内容の差異や形式的特性について異議を唱えないことに同意するものとします。

貴殿は、購入後のEPUBファイルの管理は完全に貴殿の責任であり、ファイルの紛失、破損、または意図しない拡散について当方は一切責任を負わないことに同意するものとします。

五 著作権および厳格な利用制限

本作品のすべての内容、テキスト、キャラクター、設定、ストーリー、アートワーク、およびその他の創作的要素に関するすべての権利（著作権、商標権、その他の知的財産権を含む）は、完全かつ排他的に当方に帰属します。

貴殿は、以下の行為を明示的に禁止されることに同意するものとします..

本作品の全部または一部の複製、再配布、転売、貸与

本作品の全部または一部の公開朗読、朗読配信、公開上映

本作品の翻訳、翻案、改変、二次創作、派生作品の作成

本作品の内容に基づく商品化、グッズ制作

本作品を利用したAI学習、データベース構築、テキストマイニング

本作品の全部または一部をSNS、ブログ、メッセージアプリ等で共有することその他、

当方の権利を侵害する可能性のあるあらゆる利用

貴殿は、本作品を個人的に楽しむ目的でのみ使用できるものとし、それ以外のいかなる目的での使用も厳格に禁止されます。

上記の制限に違反した場合、当方は法的措置を含むあらゆる適切な手段を講じる権利を留保し、貴殿はそれによって生じた法的費用を含むすべての損害の賠償責任を負うことに同意するものとします。

六 完全な責任免除および法的保護

当方は、本作品の閲覧、使用、または本作品へのアクセスができないことに起因して生じたいかなる直接的、間接的、偶発的、特別、懲罰的、または派生的損害（心理的・精神的被害、評判の損害、事業の中断、データの喪失、利益の損失を含むがこれらに限定されない）についても、たとえそのような損害の可能性について当方が知らされていた場合であっても、一切の責任を負わないものとします。

本作品の解釈、内容理解、および閲覧後に貴殿が取る行動や受ける影響については、完全かつ排他的に貴殿自身の責任であり、これに関連するいかなる請求からも当方を免責・防御・保護することに貴殿は同意するものとします。

貴殿は、本作品に関連して第三者から当方に対して提起されるいかなる請求、訴訟、要求、費用、責任、および支出（合理的な弁護士費用を含む）についても、貴殿の本免責事項違反から生じた場合、当方を防御、免責、および損害を与えないことに同意するものとします。

適用法で許可される最大限の範囲において、当方の総責任額は、貴殿が本作品に対して支払った金額を超えないものとします。

一部の法域では特定の保証の除外または責任の制限を認めていないため、上記の制限の一部は貴殿に適用されない場合があります。しかし、法律で許可される最大限の範囲で制限が適用されるものとします。

七 プライバシー、セキュリティおよびリスク認識

貴殿は、本作品の購入・ダウンロード・閲覧履歴が個人のプライバシーにかかわる機密情報であることを認識し、これらの情報および本作品のファイル自体の管理は完全に貴殿の責任であることに同意するものとします。

貴殿は、共有デバイス、公共の場所、職場環境、または第三者がアクセス可能な環境での本作品の閲覧・保存に伴うすべてのリスク（社会的評判、雇用関係、人間関係への潜在的影響を含む）を完全に理解し、そのようなリスクから生じるいかなる結果についても当方が一切責任を負わないことに同意するものとします。

貴殿は、インターネット通信、クラウドストレージ、デジタルデバイスに固有のセキュリティリスク（ハッキング、不正アクセス、マルウェア感染、データ漏洩など）を理解し、本作品の購入・保存・閲覧に関連するそのようなリスクについて当方が一切責任を負わないことに同意するものとします。

貴殿は、本作品の PDF ファイルまたはその他のデジタル形式が、技術的な問題、互換性の問題、またはデバイスの制限により正しく表示または機能しない可能性があることを認識し、そのような技術的問題について当方が責任を負わないことに同意するものとします。

八 問い合わせと紛争解決

本作品に関するご質問、ご意見は連絡先までお寄せください..
当方は問い合わせに対する回答義務を負わず、回答の有無、内容、タイミングはすべて

当方の裁量によるものとします。

本免責事項または本作品に関連して生じるいかなる紛争も、日本国の法律に準拠するものとし、地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

九 可分性と完全合意

本免責事項のいずれかの条項が無効または法的強制力がないと判断された場合でも、残りの条項は完全に効力を維持するものとします。

本免責事項は、本作品に関する貴殿と当方の間の完全な合意を構成し、書面または口頭を問わず、本件に関する以前のすべての理解、合意、表明に優先します。

本免責事項は、当方の書面による明示的な同意なしに変更または修正することはできません。

十 承諾と効力発生

貴殿は、本作品を購入、ダウンロード、閲覧、または他の方法でアクセスすることにより、本免責事項をすべて読み、完全に理解し、法的拘束力のある合意として無条件に同意したことを認めるものとします。

本免責事項への同意は、貴殿による本作品へのアクセス時点で効力を生じ、永続的に有効であり続けるものとします。

法的通知… 本免責事項に同意せずに本作品にアクセスした場合、著作権法違反およ

び契約違反となり、法的措置の対象となる場合があります。同意できない場合は、直ちに本作品の閲覧を中止し、すべてのコピーを削除してください。

本免責事項に同意された上で、作品をお楽しみいただければ幸いです。

最終更新日：二〇二五年三月二十九日

著者名：宇佐見翔